

みんなの居場所がここにある!!

本村は高齢人口割合が四二・二パーセントで高齢社会の中にあります。産業化、近代化が進み、多産多死から多産少死、少産少死の時代に入り、併せて若者の村外流出による過疎化の結果、総人口の中での高齢人口割合が増えてきたのです。そして現在、独居老人は一〇一人。

こうした中、高齢者が永年住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、社会とのつながり、自立生活の助長を目的に福祉テレビ電話を設置することと致しました。日常のコミュニケーション^{コミュニケーション}のためのアイテムとして、これで幾分かは不安も取り除けるものと期待しています。しかし、いくらIT化が進んでいるとは言え、人の心と心のつながり、温かさ等を肌身で感じることは、到底機械がその役割を果たすものではありません。村民一人ひとりが愛の心を持って、「声かけ」運動を展開して頂きたいと存じます。「居てくれるだけでいい。」そんな温かい心のふれあう村づくりを一緒に創っていきましょー!

かわべ



2001年11月

発行

河辺村公民館

☎ (0893) 39-2111

河辺村ホームページ

<http://www.vill.kawabe.ehime.jp/>

info@vill.kawabe.ehime.jp

E-mail

info@vill.kawabe.ehime.jp

ehime.jp

佐川印刷 KK

大洲市若宮 496

☎ (0893) 24-0771

福祉テレビ電話でコミュニケーション



公開授業

やさしさを 世界の人たちに 伝えよう

11/7

河辺中学校体育館を全体会場として第八回『河辺人権のつどい』が開催されました。『やさしさを 世界の人たちに 伝えよう』の大会スローガンのもと、村内より人権尊重の村づくりを目指す二五〇名の皆さんが一堂に集いました。午前中は、小・中学校それぞれで、人権教育の視点に立った授業公開、そして懇談会や集会活動が行われ、参加された皆さんは、身近な人権問題について気づき、考えることができました。

午後からの全体会では、開行事に引き続き、人権作文・意見発表、人権標語発表が行われ、私たちが生まれながらにして持っている人権について改めて考える機会を得ることができました。引き続き、劇団『DANDAN』による人権啓発ミュージカル『聖母マリアになれなくて』が上演され、家庭内における人権問題、そして家事や育児そして仕事の上で、女性と男



意見発表



ワークショップ



人権啓発ミュージカル



人権標語発表

性との間で起きる人権問題等について、参加者は深く考えさせられました。今回のつどいに参加された皆さんは、社会や家庭内、そして学校に存在している人権問題に改めて気づかれたのではないでしようか。最後になりましたが、素晴らしいミュージカルを上演していただいた劇団員の皆様、そして忙しい中参加していただいた皆様にお礼を申し上げます。

ふるさとの宿において、結婚五十周年のご夫婦をご案内して金婚祝賀会を開催しました。当日は、九組のうち六組のご出席を頂き、記念写真撮影、村長式辞、金婚者をご紹介した後、自治功労者北川照正氏に村長から感謝状、金婚者の方々に記念品の贈呈があり、来賓祝辞、最後に金婚者を代表して北川照正さんより謝辞があり、式終了後の懇親会では想い出話に花が咲きました。

二人三脚で50年

10/16



ますますお幸せに♥

なお、今年金婚式を迎えられたのは次の方々です。

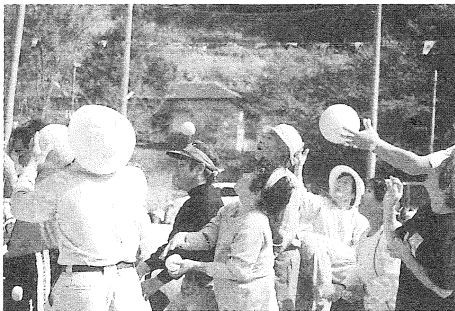
植松 北川 照正・照子
植松 大見 善徳・シズカ
横山 大野 清夫・美子
横山 上田 徳市・フミコ
宮谷 徳岡 高三郎・マサコ
坂本 岡林 寛・鶴子
中居 片岡 清高・貴美子
神納 菊池 進・時子
用の山 山本 登・友子

ご夫妻様
おめでとうございます。

河辺中学校グラウンドにおいて、第三十六回村民運動会を開催しました。昨年は雨天中止となっていたため、各分館とも気合いを入れての参加となりました。二宮運営委員長の開会宣言が始まった開会式では、植松分館に平成十二年度年間最多勝利賞の授与後、稲田大会長があいさつ、続いて本山議長より綱引きの極意を含めた温かい激励のこたばを頂きました。大会は、十一年度優勝大伍分館ミッシェル選手のすばらしい選手宣誓でスタート。二十一世紀最初の大会は国際色豊かな大会となりました。競技種目には、一年間温存されていた新規種目が登場！大玉・ラグビーボール・サッカーボールをころがす「二〇〇一年玉ころがし」、両側が異性の三人四脚「両手に華」と大いに盛り上がりました。中でも、分館総力を結集した「復活！年代別リレー」「大百足競争」は声がかかるまで、大きな声援が続いていました。そして最後の最後「綱引き」は力と和のぶつかり合い。三つ巴となり、これにジャンケンで勝った植松分館が実に十六年ぶり三度目の優勝となりました。おめでとうございます。各分館役員、選手の皆さんお疲れ様でした。

16年ぶり 植松分館 優勝！

10/14



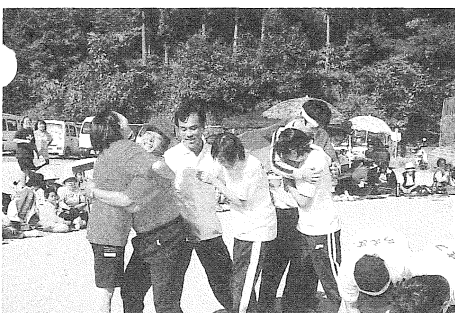
うまく入って！



見事な鼓笛パレード



国際的大会の始まり



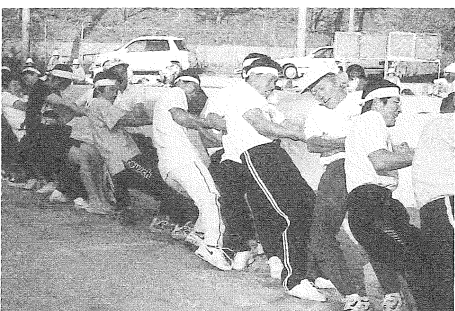
うれし～



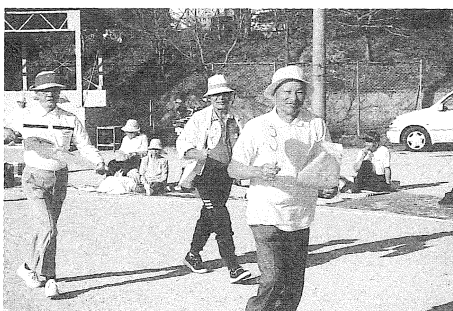
広がれ！踊りの輪



かわいい大五郎♡



力の限りゴーゴゴー



ヤッタね！



足並み揃って1、2

ぼくにもできた！

10/30



たのしい収穫

農業体験、共同体験を通して収穫の喜びを求め、併せて家庭での会話促進を目的に、第三弾ひまわり学習「ソバ刈り」を実施しました。種まきからの日がなかったため、実施日を当初予定日より十日遅らせた平日に、大洲地域農業改良普及センター職員の指導、生活改善グループ及び保護者のご協力のもと、河辺小学校三年生十一人と合せ、総勢三十六人で二十一アールのソバ刈りを行いました。

天候にも恵まれ、心地よい秋風に吹かれながらの作業となり、スムーズに進みました。子どもたちには安全を考え、ソバを根から引き抜いてもらい、それを保護者が鎌で切り、グループの方が束ね、稲木に



笑顔がいっぱい



たくさんできたよ

かける作業手順をとりました。子どもたちは、初めての作業にとまどいながらも、楽しく農作業をすることができました。参加下さった皆さんお疲れ様でした。刈り取ったソバは二十日ほど天日干しにし、その後脱穀、十二月に手打ちソバにして食べる予定です。

交流が歴史をつくる！ 11/4

毎年この時期の恒例行事となった内子町村前荘球会とシルバーズのソフトボール交流会が今年は河辺中学校グラウンドで行われました。

この交流会は、昭和六十二年から続いているもので、会員皆さんが楽しみにされているイベントの一つです。

当日は、天候にも恵まれ絶好の交流試合日となりました。

そして、好プレー、



集合！

珍プレーの続出に会場は大いに盛り上がりました。その後、持たれた親睦慰労会では、会場を農業構造改善センターに移し、参加者全員で鍋を囲みました。住んでいる地域は違っても、十五回目ともなると、いろんな話で話題はつきません。延々とお酒が無く

笑いがとびかう 11/18

男子七チーム、女子六チームの参加を頂き、盛大に分館対抗レクバレー大会を開催しました。各分館とも、日頃からスポーツクラブを結成し、練習している



選手宣誓



ガッチリいこうぜ！

なるまで会場の灯が消えることはありませんでした。他のスポーツにおいてもこういう交流会の輪がどんどん広がりますように！そして、村民のスポーツ人口が増え、心身ともに健全な体力づくり運動が進むことを願っています。みなさん益々お元気に。

とあって、白熱した試合が続きました。随所に好プレーが見られ、全日本のグラチャンバレーを見ているような気分になりました。また、余りに試合に熱中しすぎ、自分達の位置がわからなくなるといった光景も見られ、観客にとってもおもしろい大会となりました。そんな好プレーの光った大会は、四時すぎまで続き、この熱戦を制した分館は次のとおりです。おめでとうございます。

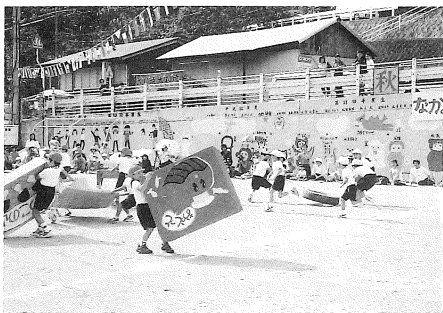
男子 大伍分館
女子 植松分館
分館役員、選手の皆さんお疲れさまでした。



好プレー



珍プレー



どっこいしょ

最後になりましたが、準備（愛校の日の奉仕作業）から後片付けまで、保護者及び地域の皆様のご協力、本当にあ

見ても、「楽しかった。くやしなかった。おもしろかった。優勝できてよかった。来年は優勝するぞ。」と、充分に満足している様子がわかりました。

すばらしい運動会 10/7

日曜日朝、雨の心配をしていたのがうその様に晴れ、河辺小学校の秋季大運動会を実施しました。

練習の時以上にすばらしい子どもたちの演技、保護者・地域の方々の励ましの応援、PTAの方々の力のこもった（おもしろい）演技など、時間があつという間に過ぎていきました。

子どもたちの感想を

りがとうございました。来年も、すばらしい運動会になりますようご協力をお願い致します。



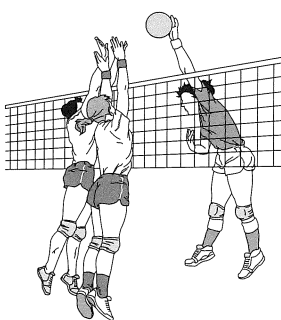
決まった！

新人総体を終えて 10/2

内子・五十崎を会場に喜多郡新人総合体育大会が行われました。

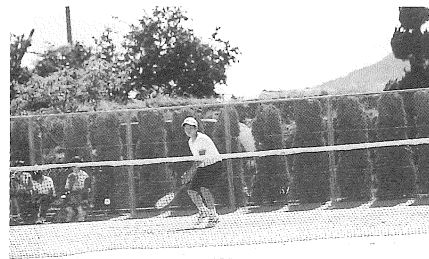
本校は、この大会より、軟式野球部がソフトテニス部に代わり、初めての大会となりました。練習期間も短く、八月から約二カ月ということもあり、個人戦のみ一ペア（山崎・松田組）が出場しました。試合では、勝つ

ことはできなかったものの、ジュニアになるまでポイントをとったりして、あまり他のチームと引けをとらない結果だったと思います。来年の総



大会中、ご多忙中にも関わらず、熱心に応援していただいた保護者・地域の皆様に、心より感謝いたし、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

体に期待が持てます。また、バレーボールの部においては、脇川中・長浜中と対戦しました。結果は、セットカウント〇対二で敗退しました。二試合ともに、競り合う場面も見られましたが、あと一歩が踏ん張れませんでした。この経験を生かし、来年の総体に向けて、基礎から出直しています。



緊張のデビュー戦?!

やねばし通信

ふるさとに望む

内子町城廻

名本 高成

（下大成出身）

やかたばし（屋形橋）

十月の下旬、深まりゆく秋の気配を感じながら、秋知川に架かる屋根付き橋の風情にいざなわれ、天神社の御幸の橋、帯江と三嶋の橋を見に出かけた。すでに屋根付き橋は自然と調和して情趣があり、この川にはなくてはならないもののように思われた。橋の上には立つと、岩谷にあった屋根付き橋が懐かしくよみがえってきた。

そもそも橋は、端と端に架けて通路としたものを「かけはし」と言い、「はし」だけで用いるようになったと思われる。川や海の上に、横から横へ渡したものが「はし（橋）」で、上下に立て掛け横木を取り付けたものが「はしご（梯子）」、土台と屋根との間に垂直に立てると「はしら（柱）」になる。

ところで、水郷大洲市の鵜飼船は屋形船となっている。これは船を雨から守るというよりも、むしろ大切なお客を雨から守り優雅な雰囲気の中でもてなすために、屋根を構えたものと思われる。ちなみに簡素な小屋を乗せた小船を屋根船と言うそうである。

御幸の橋は、床面が緩やかなそり橋になっており、屋根によって荘厳な趣を一層際立たせている。一方、帯江と三嶋の橋は、簡素ではあるが、重厚で頑丈な造りとなっている。とりわけ三嶋橋は、家の中からゆったりとして清流を眺めているような不思議な感覚にさせてくれる。そして心地よいせせらぎに、心がいやされた。

屋形橋は、そこに住む人たちのこまやかな心遣いとぬくもりを感じさせる。現存する生活のための屋形橋はまれにしかないと言う。さらに四季折々の変化にさまざまな表情を見せる屋形橋に魅せられそうである。

パレードで
呼びかけ

9/28

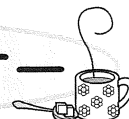
河辺小学校児童による交通安全鼓笛パレードが植松地区（役場前から富永建設まで往復）で行われました。このパレードは毎年「秋の全国交通安全運動」期間中に実施されるものです。

今年も、全校児童五十人の元気なパレードが、沿道に駆け付けたお母さんたちの声援を受けながら行われました。パレード終了後、稲田村長から「交通ルールを守って事故に遭わないよう気をつけましょう」とあいさつがあり、記念品が贈られたあと、児童全員が「交通ルールを守ります」と力強く誓いました。

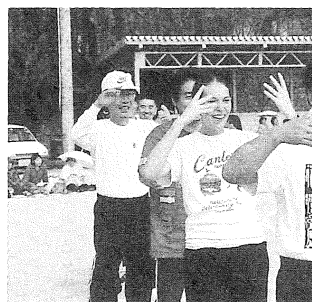


交通ルールを守りましょう！

ミッシェルのコーナー



わたしはそんなうんどうかいを、非常に楽しみました。私たちは、アメリカでうんどうかいを持っていません。私は、楽しみにとてに会い楽しむことがコミュニティーにとってよいと思います。競争に勝つより、ともに愉快地に過ごすことはより重要でした。（しかし、私は、だいがぶんかんが勝つべきだったとまだ思っています！）



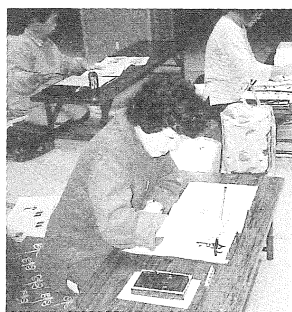
河辺音頭でスマイル



グループ訪問

書道教室

毎月二回、老人福祉センターで書道教室が行われています。文字は体を表すと言われます。心を込めて、相手に分かる文字を書きたいものです。

いい汗流そう
新春マラソン大会

好評により、今年度も昨年に引き続き、分館役員の協力を得、新春マラソン大会を左記のとおり開催することになりました。たくさんの方の参加をお待ちしています。

記

日時 平成十四年一月十三日(日)
集合 河辺村公民館前九時
コース 二km・四km・六km

皆さん一緒にさわやかな汗を流しましょう！

地元の力

発揮！

11/11

秋の晴天に恵まれた日曜日、川上三杯谷の滝公園野外ステージ付近において、滝まつりが行われました。県内各地より三百人をこえる人のご来場があり、盛大に開催されました。地元のお母さん達がつくったきじ鍋、にぎり飯の接待もあり、お酒も入り大いに盛り上がりました。元コロンビア歌手和気ヤス子さんによる歌謡ショー、お楽しみもちまきと参加された皆さん、



おおにぎわい

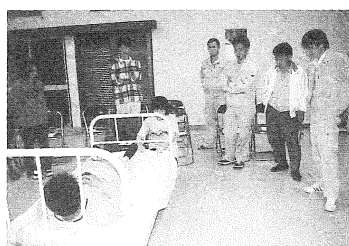
私たちに

できること

11/12

老人保健施設ひまわりより理学療法士の井下ゆかりさん、主任ヘルパーの富士川眞由美さんを講師にお迎えし、わくわく∞セミナーで介護の現状と課題についての講義、介護術の実技指導を受けました。実技としてベッドメイキング、ベッドからの起き上がり方、車椅子への移乗を学びました。

その中で介助のポイントとして、一、安全・安楽に



心と技を学びたい

残有機能を最大に引き出す一、自分の身体を守ることを学習しました。当セミナーは、介護の現状を知るとともに介護術の裏技を学ぶことができ、自分たちのできるボランティアについて考える機会となりました。

少し紅葉は早かったのですが、楽しい一日を過ごされました。滝周辺は只今観光開発中です。地元住民の力で今後もまつりが盛り上がることを祈念します。

診療所だより

今年も残すところ一カ月あまりとなりました。輝かしい新世紀の幕明けとなるはずだった二〇〇一年ですが、不況、狂牛病、テロなど、暗いニュースばかりが目につく一年だったように思います。

今年は診療所でも、いくつかわりがありました。

① 老人医療費の値上がり。
診療所では窓口で支払う金額が一回八百円となりました。大病院では一割負担と、医療機関によって計算方法が異なるため、とまどわれた方が多かったと思います。

② インフルエンザ予防接種への一部助成。これまでは完全に個人の判断、責任に委ねられていた予防接種ですが、過去の統計上インフルエンザの流行、重篤化を抑えるのに有効との結果が出たのをふまえ、六十五歳以上を対象に接種料の半額が各自自治体より助成されました。このため、診療所でも接種希望者が急増し、現時点で約三百五十人を数えています。

③ 診療所内の医療機器入れ替え。昨年、今年にかけての予算を大幅に割いていただき、検査機器を新しくしました。胃カメラ、エコー、レントゲン、心電図、物療機などの主だった機器が最新型のものとなり、検査精度も著しく上がったと実感しています。

①②については、トップダウン式の法改正のすばやさに半ばあきれましたが、同時に主体であるはずの国民（私達です！）の徹底した受身の姿勢にも驚きました。③については、近年の財政難の中、貴重な予算をいただきましたことを心からお礼申し上げます。今後より一層、村民の皆様健康維持、管理に役立てていけるよう努力します。

何にせよ、あきらめてしまっただけではありません。不平不満だけでも足りません。現状と要望を建設的な展望をもって伝えること、それが国や村を支える元気の源になるのではないかと感じています。

大洲保健所の相談ごと案内

①難病医療相談（予約制・無料）

日時 毎月第3火曜日 13時～15時
相談員 医師・保健婦・ケースワーカー

②精神保健福祉相談（予約制・無料）

日時 毎月第3金曜日 13時～15時
相談員 医師（精神科）

③エイズ検査・相談（氏名不問・予約制・無料）

日時 毎月第1・3火曜日 11時～12時
相談員 医師・保健婦
※エイズ予防週間中の12月3～5日は夜間も「電話相談」（17:00～20:00）検査受付

④結核・一般健康診断（有料）

日時 毎週火曜日 9時～10時

⑤HTLV-1抗体陽性者相談

日時 電話相談 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）9時～16時30分
来所相談（予約制・匿名・無料）
相談員 医師・保健婦

場所 大洲保健所2階 健康相談室
(☎24-3165)



こんにちは 保健婦です

～ ほほえみは回復薬！ ～



健康・文化フェスティバルレポート!!

10月28日に行われたイベントでは、今年も恒例の健康達人への道スタンプラリーを行いました。

今年もたくさんの皆さんにご参加いただき、155人の方が、健康達人への道を極められました。

スタンプラリーのコーナーには、骨をテーマにした健康クイズコーナー、血圧コーナー、体脂肪測定コーナー、介護用品コーナー、骨のコーナーがあり、どのコーナーにも、たくさんの方が訪れてくださいました。

ここで、いらっしゃらなかった方のために、その時の健康クイズを紹介します。ぜひ、挑戦してみてください。

①人間の体は、何個の骨からできているのでしょうか？

㊦約200個 ㊧約100個

②骨がスポンジのようにスカスカになる病気（骨粗鬆症）になりやすいのはどちらでしょう？

㊩男 ㊪女

③骨をつくるカルシウムは大人一人一日あたり、何mg必要でしょう？

㊦600mg ㊧500mg

④カルシウムの体内への吸収率が高い順番はどちらでしょう？

㊩牛乳ー海草ー小魚
㊪牛乳ー小魚ー海草

⑤骨を丈夫にするために必要なことは何でしょう？

㊩運動と日光浴
㊪休養と睡眠

⑥骨粗鬆症になると骨折しやすくなりますが、どの部分の骨折が多いでしょう？

㊩足のつけ根 ㊪手首

答え ①ー㊦ ②ー㊪ ③ー㊦ ④ー㊩ ⑤ー㊩ ⑥ー㊩

年金ワンポイント

平成十四年四月から国民年金の事務が変わります！

平成十四年四月一日から、国民年金に関する取扱いが一部変更されます。

- ① 保険料の取扱いが村から国に変わります。銀行などの歳入代理店や郵便局のほか、農協、漁協、信用組合、労働金庫などの金融機関等で納付が可能となります。
- ② 納付書が国(社会保険庁)から送付されます。平成十

四年四月分からの納付書は、国(社会保険庁)から、直接送付されます。住所を変更した場合も、同じ納付書を使用できるようになります。

- ③ 第三号被保険者の届出先が変わります。第三号被保険者に関する各種届書は、村から配偶者の勤務する事業主(又は共済組合)へ届出をすることになります。

詳しくは、福祉課国民年金係までお問い合わせ下さい。

介護の窓

【居宅介護福祉用具購入費について】

在宅の介護者が、入浴や排せつに用いる福祉用具等を購入したときは、償還払いで支給されます。(限度額十万円)

- 種目は
- ① 腰掛便座
 - ② 特殊尿器
 - ③ 入浴補助用具
 - ④ 簡易浴槽
- などです。

【居宅介護住宅改修費について】

在宅の要介護者が、手すりの取付け等の一定の住宅改修を行ったときは、償還払いで支給されます。(限度額二十万円)

種類は

- ① 手すりの取付け
- ② 段差の解消
- ③ 滑り防止のための床等
- ④ 引き戸への扉の取替え
- ⑤ 洋式便器等への便器の取替え

等となっています。利用される方は、介護認定を受けられてから、手続きをして下さい。

明日の農林業を担う!!

河辺村農林業やる気集団では、農林業で自立できる経営を目指して平成五年の設立以来、新規作物や新品種の模索、栽培等講習会、視察研修など様々な取り組みを行ってきました。

今回は、鳥取県西伯町で「いちじくの特産化の取り組み」について、

いちじく栽培では、ハウスでの畝立て栽培による一文字整枝を行



熱心に研修!

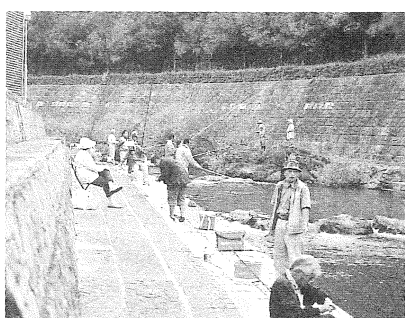
つており、はじめて見る栽培方法に質問が相次ぎました。また、二日目の林業研修はあいにくの雨でしたが、施業中の山林で施業方法や林業経営について研修を行いました。

大物をねらって (9/23)

河辺村観光推進協議会主催の第十四回溪流釣り大会がふるさとの宿の側を流れる河辺川(約五百mの釣り専用区域)で開催されました。

今年も村内外から多くの溪流釣りファンが集まり、午前七時のスタートとともに

魚の大きさを競い、上位三位までは表彰されるとあって皆



うまく釣れるかな?

大物狙いに自慢の腕前を見せていました。午前十一時の終了とともに計測した結果、川崎の有友幸寿さんが三十三cmのマスを釣り上げ見事優勝しました。

いちじく 一一九番です

石油ストーブの取扱いについて

「安全は、しつかり点検・確認から」

ひと冬をいっしょに過ごすストーブです。使い始める前に必ず点検整備をしましょう。火がつきにくかったり、変な臭いがしたり、少しでも異常があれば使わずにお店に相談しましょう。

ストーブを置く場所の周りにも注意して下さい。カーテンやふすまに近すぎないか、棚から物が落下する恐れはないか、安全に使用するための確認をお願いします。

また、ストーブの上に洗濯物を干さないようにして下さい。

給油するときの注意点

面倒だからといって、火をつけたまま給油することは大変危険です。給油する前には必ずストーブの火を消しましょう。

給油の後は、燃料タンクのキャップをきちんと閉めたかどうかを確認しましょう。また、ガソリンと灯油の入れ間違いに注意しましょう。

こんにちは!

大きく育つて
ね。(母より)



(旭)岡田 翔棋ちゃん

河辺村の宝物

はじめての
バースデイ

インフォメーション

12月	1月
	1
小学校学芸会	2
健康相談	3
	4 仕事始め
乳幼児健診	5
	6
	7 健康相談
	8 三学期始業式
	9
心配ごと相談	10 心配ごと相談
	11
	12
	13 新春マラソン大会
	14
	15
ひまわり学習(ソバ打ち)	16
健康相談	17
	18
	19
	20
	21
二学期終業式	22
	23
	24
心配ごと相談 行政相談	25 心配ごと相談 行政相談
	26
	27
仕事納め	28 健康相談
	29
	30
	31
村議会定例会 子育て学習全国展開事業	未定

人権教育シリーズ

(90)

「心のノーマリゼーション」

三重の障害と闘い続けたヘレン・ケラーは、「障害者は、不自由ではあるが、不幸ではない。世の中の差別が私たちに不幸にしている。」と言いました。

近ごろは、公共施設等障害者の人たちが利用しやすいように改善されるなど、社会環境は、少しずつ整備されつつあります。

しかし現実には、障害者の人たちに對する偏見が無くならない。

らず、心の環境はまだまだ改善されていません。障害のある人もない人も、共に暮らせる社会を築く(ノーマリゼーション)ために、私たちの意識を変えていかなければなりません。

私たちは、障害者の人たちにどのような接し方をしているでしょうか。その人の気持ちを考えて接しているでしょうか。こんな話を聞いたことがあります。荷物を持って階段を上がっている足の不自由な方に對し、かけよって声をかけた後何もせずに帰ってき

た息子。それを見て、「手伝ってあげないとダメじゃないか。」と注意する親。実は、子どもが、「お手伝いする」とはありませんか。」と声をかけると、「ありがとう。自分で上がれるから。」という答えだったというのです。この子どもの接し方は、本当に相手の気持ちを考えた行動で、親の自分が障害者に対して思いやりのつもりが特別視していたことに気づいたというのです。本当のやさしさをもつて接していくことで、心のノーマリゼーションが実現されると思います。

(河辺村同和教育協議会)

短

歌

一日おき電話で話す寝たきりの
娘の声あかるきに心救わる
すがれゆくわが身いとしもふるさは
はや秋風の吹きぬけてゆく
静かなる山峡に今朝は何ごとか
ヘリコプターが高く低く飛ぶ
奥伊予のかまぼこ板の絵を見つつ
画いて出すよと幼稚園の孫
広葉樹信号機にもさも似たり
青黄赤と色を変えゆく
残暑去り一雨ごとに肌寒く
窓辺に競う虫の合奏

上林ヨシ子
戸田 薫明
谷本 愛子
谷本 義隆
清水 孝
清水 菊江

消息

自 13・9・11
至 13・11・10

☆お誕生おめでとう

②4 和氣 華乃 (下大成 母父 母父 洋
②7 米澤 有之助 (川 崎 知康 麻 春宏 由

☆未ながくお幸せに

(片山 憲二(中 居
(徳田 恵子(松山市

☆おくやみ申し上げます

上久保 潔(横山中)
塚野 静雄(川 上
山下ハヤ子(旭)

64 71 75
歳 歳 歳

人のうごき

(平成13年11月1日現在)

世帯数 532戸
男子 668人
女子 698人
計 1,366人

H12.11.1 現 1,366 (0)
H11.11.1 現 1,385 (△ 19)
H10.11.1 現 1,403 (△ 37)
H 9.11.1 現 1,418 (△ 52)
H 8.11.1 現 1,445 (△ 79)